

# 会 議 録

会議名称	第5回伊達市庁舎整備検討委員会		
議 題	(1) 最終答申事項について		
開催日時	令和7年1月30日（木）午後4時30分～午後4時55分		
場 所	伊達市役所3階第2、3会議室		
出席者	委員：12名（欠席：2名）		
	所管部課名	総務部総務課	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

## 【会議録】

### 1 開 会

事務局より、委員の過半数以上の出席により会議が成立していることを報告。

### 2 議 事

委員長：前回委員会の振り返りと最終答申事項については深い関連があることから、議事のうち2つまでを続けて、事務局から説明願います。

事務局：令和5年11月28日に市長から庁舎整備検討委員会委員長へ提出された諮問書に基づき審議を進めており、諮問事項（1）の「庁舎の整備方法について」は、長期的な視点で考えると改修ではなく建て替えるべきということで、令和6年3月21日に中間答申書を委員長から市長へ提出いただいたところです。

そして、中間答申以降は、当初、市民向けワークショップの結果報告も踏まえつつ基本構想の具体的な項目等に踏み込んだ最終答申を行うというスケジュールですすめていただいていたところですが、市より昨今の建築コスト増により財政的な目途がたたなくなつたとの話から、残りの2項目に関する諮問事項の答申にとどめるものとさせていただいたところでございます。

～2項目に関するこれまでの主な意見について資料を基に説明～

また、最後にはこれらを踏まえた事務局による答申案を添付させていただきました。

今回の委員会による審議を踏まえ修正し、最終的には委員長一任で最終稿を作成させていただきたいと考えているところですが、こういったイメージを見ることで、「もう少しこういったことも盛り込んだ方が良いのでは」という案も浮かぶこともあるのではないかと思い添付させていただきました。ご審議のほどよろしくお願いたします。

委員長：答申という形で我々に求められているものとしましては、「市役所に求められる機能」と「その他庁舎整備に関すること」で、これまでの議論で出たものについては先ほど事務局より説明がありました。これ以外に「そういえばこんなこともあったかな」といったものがないか委員の皆様にご意見を伺います。

委員A：直接答申に関わる事項ではないかもしれませんが、物価急騰から財政的な面で建設の目途が立たなくなったことが非常に残念に思います。クラウドファンディングなど様々な手法を検討して、何とか財政的な課題も解決し庁舎整備をすすめてもらいたいです。

委員長：ただ今の意見も答申書の「その他」で肉付けできると考えておりますので、他の委員の方も是非忌憚なき意見を述べていただければと思います。

委員B：伊達は有珠山噴火という地域性が根底にあるので、答申においてもそういった災害に関する事項に触れるべきだと思います。また、自治会の方と話した際に、備蓄物資を避難場所となる会館に保管し、備えとしても良いのではという意見もありましたので、庁舎に何でも集めるのではなく、関連施設全体の利活用も考慮したうえで必要なものを検討していただきたいです。

委員長：まさに委員のおっしゃる通りで、昨年の委員会でも研究発表として他の市町村の基本構想に組み込まれている内容を委員の皆様にご提示させていただきましたが、その中で説明した一般的に庁舎に求められる事項のうち、委員会での議論に出ていたものも私の方で答申に加えさせていただこうと思っておりました。

防災機能については、伊達市にはしっかりした防災計画等がありますので、その中に新しい庁舎のあり方を含めて組み立てていって欲しいといった旨で答申へ反映するよう進めさせていただきます。

委員C：現状考えられる最大公約数的なものが盛り込まれていますが、実際の庁舎建設は恐らく何年後か先になるため、情勢が変わりこの答申が逆に足かせになってしまうことを懸念しています。あくまで現状を踏まえての答申であり、「未来のことは未来の方が考える」ものにした方が良くと思います。

委員長：そうですね。そのとき審議すべき方がしっかり議論できるようにするべきですね。

委員B：他市町村の庁舎見学をした際に、職員出入口の風除室が悪天候時に吹き溜まりができて使用の妨げになっているという話を聞きました。

一般的な図面や設計上は問題なくとも現地の地形や風土の特性による影響も事前に検証しておくよう触れておき、建築した後に十分な機能を果たせないといった可能性を少しでも無くせればと思います。

委員長：非常に重要なファクター（要素）なので、答申の文言に加えさせていただきたいと思っています。

ありがとうございます。他にご意見はありませんか。

～意見なし～

委員長：それでは、委員の皆様からこれまでいただいた意見の内容についてはおおむねご同意いただいたということで、本日の意見を踏まえた最終答申へ向けた調整は私と事務局に一任いただきますが、よろしいでしょうか。

～異議なし～

### 3 その他

特になし

### 4 閉 会

# 第5回伊達市庁舎整備検討委員会

---

日時:令和7年1月30日(木)16:30~  
場所:伊達市役所本庁舎3階  
第2、3会議室

伊達市総務部総務課

# 1 前回の振り返り

物価高騰等による情勢の変化により、市の財政的な目途がたたないことから、諮問事項に対する答申は、基本構想の具体的項目等に踏み込まず、下記の2項目に関する答申のみとなった。

諮 問 書（令和5年11月28日提出）

伊達市庁舎整備検討委員会委員長 様

伊達市長 堀 井 敬 太

伊達市庁舎整備検討委員会条例第2条の規定に基づき、下記の事項を諮問いたします。

## 1 諮問事項

(1) 庁舎の整備方法について（建替えか改修か）

→令和6年3月21日に中間答申

(2) 市役所に求められる機能について

(3) その他、庁舎整備に関することについて

→最終答申

## 2 最終答申事項について①

### 「市役所に求められる機能について」におけるこれまでの主な意見

- ・長寿命化の観点から定期メンテナンス等がしっかり行えること
- ・職員・来庁者両方に対して環境面に配慮されたものであること
- ・ユニバーサルデザインの考えにしたがい、あらゆる来庁者が利用しやすいものにする  
こと（わかりやすい案内、バリアフリーの充実）
- ・伊達市の特徴がわかるような何かがあること
- ・プライバシーに配慮し、かつカウンターで待たせないものにする  
こと
- ・高齢化とDXのバランスをとり、利用しやすいものにする  
こと
- ・10年先といった中短期で時代に合わせた見直しができるように  
すること（会議室や書庫などの設備等を可動式にするなど）



## 2 最終答申事項について②

### 「その他庁舎整備に関することについて」におけるこれまでの主な意見

- ・ 集約化には分散しているメリットもしっかり検証したうえで判断すること  
(一極集中のリスク、設備小型化によるメンテナンスのしやすさ・経費軽減)
- ・ 市街地から離れた場所に生活している方にも配慮すること
- ・ 民間資金の活用や、稼げる庁舎としてテナント誘致も検討すること
- ・ 立地や建物の状況によるが、市民が行政目的以外でも利用できる余地について検討すること  
(駐車スペース等)
- ・ 地中熱等の省エネ設備導入判断についてはライフサイクルコストなどを十分に検証すること
- ・ 市民や若手職員など多くの方から意見を聞いて、可能な限り納得のいくかたちで進めること
- ・ 財政的な制限もあることから、どんな目的と役割をもつ庁舎にするのかをしっかりと明確にして選別を行うこと